

2013 年 1 月から 2025 年 3 月までに周産女性科で卵巢過剰刺激症候群と診断された患者様へ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意いただき実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用い研究等については、国が定めた指針に基づき、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ございません。

研究課題名：卵巢過剰刺激症候群における血中 D-dimer 値に影響を及ぼす因子の解明

主研究施設：東京医科歯科大学

承認番号：M2023-067

本調査の目的：卵巢過剰刺激症候群（OHSS）は血管透過性の亢進により、多量の腹水と血液濃縮に伴う動静脈の血栓症をもたらします。D-dimer は線溶系マーカーの中でも半減期が長く、血栓症の診断に有用ですが、採卵後には卵巢穿刺に伴う血腫により D-dimer が増加するため、OHSS 発症時の有用性は未だ明らかではありません。そこで採卵後の OHSS 患者様における血中 D-dimer 値の血栓症に対する診断的意義と腹水量の増減に伴う D-dimer の動態を明らかにします。

調査データ該当期間：2013 年 1 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

調査方法（使用する試料等）：診療録に基づいて、患者様の入院後の体重、採卵時や入院後の検査情報、治療情報、採卵プロトコル等を比較検討し、血中 D-dimer 値の上下に関わる因子を抽出します。利用する情報から氏名や住所、受診日等の患者様を直接特定できる個人情報情報は削除します。また、患者様を特定できる個人情報情報は利用しません。なお、既存のデータを用いた研究のため患者様に新たにお願いすることや、謝金、負担金等はありません。

利益相反：開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先

研究責任者：齊藤和毅

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
茨城県小児・周産期地域医療学講座 助教

電話：03-5803-4082 FAX：03-5803-0378

メールアドレス：saitcrm@tmd.ac.jp